

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

## 1 組織概要

所在地	大阪府豊中市北桜塚3-1-28 市役所別館3F
TEL	06-6858-8811
FAX	06-6858-8801
URL	http://www.tium-toyonaka-osaka.jp
e-mail	tium@tcct.zaq.ne.jp
設立	2007年4月1日
設置都市等	大阪府豊中市
代表者	上野 晴彦(所長)

## 2 組織動向

### (1) 沿革

設置経緯	1997年度に任意団体として「豊中市政研究所」が設立された。
見直しの動向	2007年度に市の内部組織に組み込まれ、市の都市政策に関する調査研究を担う機関となった。
役割(2018年時点)	<input type="radio"/> 調査研究 <input type="radio"/> 普及啓発 <input type="radio"/> データバンク <input type="radio"/> 人材育成

### (2) 組織体制

設置形態(択一)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: )
常勤職員数	3人
うち常勤研究員数	1人
非常勤研究員数	2人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	研究所内にて行っている。
市民参加、外部連携	なし

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

<b>(3) 会計</b>		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2018年度予算	16,031 千円	
2017年度決算	14,352 千円	
2016年度決算	4,373 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

### 3 活動動向

<b>(1) 活動実績</b>	
定期刊行物	○機関誌(年度1冊刊行) ○研究報告書
<b>(2) 活動のマネジメント状況</b>	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に:全庁的な課題調査結果と専門家、市民等からなる運営委員会の助言を参考にしながら、本研究所で設定する。)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

### 4 特記事項

研究員の業務分担	各々が調査研究を行うとともに、情報発信、人材育成、関係機関との調整など年度毎に業務を分担している。
研究員の専門性育成の手立て	関係機関の学会等への加入や研究アドバイザーによる研究の助言、シンポジウム等の参加により専門性を高めている。
研究員のキャリアパス等	○常勤職員については人事異動、非常勤職員については論文と面接により選考。 ○キャリアパス例(常勤職員) 広報広聴課→当研究所→職員研修所
その他	豊中市の地域課題の解決を实践する人材を育成することにより、地域課題の解決を促進し、まちの活性化に資するため、2017年度より「とよなか地域創生塾」を開校した。

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

## 5 2018年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
豊中市の単身世帯の生活に関する調査研究 I	近年、全国的に壮年期(30~50歳代)の単身世帯の増加がみられる。単身者は高齢期に生活リスクを抱えやすいと指摘されている。今後の予測と政策的な対応に向け、壮年期の単身世帯の現状や展望などを2年かけて明らかにする。2018年度は、豊中市の単身世帯の量的な動向を把握するとともに、壮年期の豊中市民を対象に質問紙調査を実施し、単身世帯の生活リスクを分析した。 <a href="http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/">http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/</a>
豊中市の地域自治組織に関する調査研究	豊中市では、自治会の加入率は低下傾向にあり、地域の活動の担い手が不足しており、担い手の負担が増大している。その課題に対応するため、7年前に「地域自治組織」の体制づくりに着手した。組織の立ち上げに至るまでのコミュニティ政策の歴史とともに、今後の地域自治組織の活動を進めていく上で参考となる他市等の先進事例をまとめた。 <a href="http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/">http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/</a>
とよなか都市創造研究所の活動検証と自治体シンクタンクのあり方に関する調査研究	とよなか都市創造研究所は、市の内部組織として設置され、前身の豊中市政研究所設立から22年を経た。運営を見直す時期であると考え、その歴史を振り返り活動を検証する。2018年度は、当研究所の機能や研究テーマを整理する中で、研究の成果をより効果的に市政に反映する方法を模索する。